

薬品在庫数を0に近づけましょう

平成25年3月29日に棚卸が実施されます。経営効率を高めるため、可能な限り常備薬在庫を使用して下さい。薬剤部においても3月末には在庫数を限りなく0に近づける予定です。中止薬等ありましたら早めに返却して下さい。なお、在庫不足により薬の供給が遅れることがありますのご協力よろしくお願いします。

抗がん剤オーダー時は「規格なし」をお願いします

抗がん剤オーダー時は、「規格なし」を選択することで、最も安価な組み合わせにすることができます。抗がん剤は特に高価ですので、医薬品購入費削減のために、ご協力よろしくお願い致します。



散剤調剤時の賦形剤添加ルールの変更について

6歳以上の患者における散剤調剤時の賦形剤添加ルールを、4月1日(月)より以下のように変更します。なお6歳未満の患者におけるルールに変更はありません。

変更前	変更後
< 1日1回又は頓服の場合 > 1回処方総量が 0.5g 未満の時、賦形剤を1回当たり 0.5g 添加 < 1日2回以上服用の場合 > 1日処方総量が 1.0g 未満の時、賦形剤を1日当たり 1.0g 添加	< 1日1回又は頓服の場合 > 1回処方総量が 0.2g 未満の時、賦形剤を1回当たり 0.2g 添加 < 1日2回以上服用の場合 > 1日処方総量が 0.5g 未満の時、賦形剤を1日当たり 0.5g 添加

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成25年3月8日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品8品目、剤形・規格追加医薬品3品目、削除可能医薬品4品目が承認されました。オーダー開始は4月2日(火)からです。(詳細は別紙参照)

マクジェン硝子体内注射用キット 0.3mg の包装について

加齢黄斑変性症治療剤「マクジェン硝子体内注射用キット 0.3mg」において、アルミ袋の包装工程に不具合が生じ、日本語表示のアルミ袋の全在庫を消費したため、他国語表示のアルミ袋にラベルを貼付した製品（製造番号：241210AA,241211AA）が一時的に出荷されることになりました（下図参照）。

<現行品>

<ラベル貼付品>



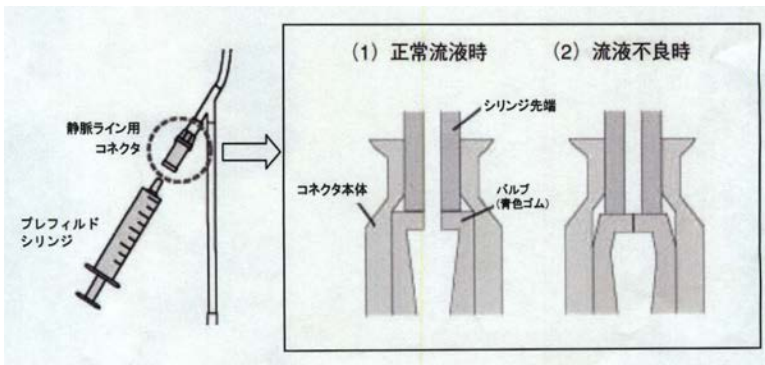
※アルミ袋の材質は全世界共通
※ラベルによる表示及び記載内容は法的に問題なし

プレフィルドシリンジ製剤の静脈ライン用コネクタとの接続性について

ルアースリップタイプのプレフィルドシリンジ（例：ヘパリン Na ロック用 100 単位/mL シリンジ「オーツカ」10mL（大塚製薬工場）を、静脈ライン用コネクタシュアプラグ（テルモ）に接続して注入する際に、押し子が硬くて押しづらい事例が報告されています。原因は、シリンジ筒先外周部のわずかな段差がシュアプラグ混注口の青色ゴムに引っかかり、通液スリットが十分開かず薬液が注入できないためと考えられています（図 1）。シリンジの押し子が硬くて押しづらい場合は、シリンジ筒先の根元まで回しながらしっかりとシュアプラグ混注口に接続して下さい（図 2）。

（図 1）

（図 2）



「ボナロン錠 35mg」服薬指導書変更のお知らせ

ボナロン錠 35mg の「のみ方」の記載内容が以下のように変更されます。

<p>ボナロン錠 35mg の「のみ方」</p> <p>このお薬は週1回1錠のみのお薬です。 (毎日のみのお薬ではありません。)</p> <p>1週間のうち都合のよい曜日を決めて、 毎週1回、決めた曜日に1錠をのんでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝、起きたときに（食事の前に）1錠をコップ1杯の水[※]（約180cc）と一緒にのんでください。 ●注）水道水または硬度300mg/L以下のミネラルウォーターでのんでください。 ●のんでから30分以上経過するまで、水以外の飲食物、他のお薬の服用はさけてください。 （のんでから30分以上経過する場合は、最初の食事をとってからにしてください。） ●このお薬をかんだり、口の中で溶かしたりしないでください。 	<p>ボナロン錠 35mg を「のみとき」の注意</p> <p>お薬の効果を最大限に引き出し、副作用を減らすため、正しい「のみ方」を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●胸やけ、嚥下時の痛み、のみ込みにくさを感じた場合には、すぐに主治医または薬剤師に相談してください。 ●もしのみ忘れた場合には、気付いた日の翌朝に1錠をのんでください。次からは、決められた曜日にのんでください。但し、決して同じ日に2錠をのまないでください。 ●のみ方についてご質問がある場合には、主治医または薬剤師にご相談ください。 ●歯医者さんで診察を受ける場合は、必ずこのお薬をのんでいることをお伝えください（この紙を見せてください）。 <p>歯科・歯科口腔外科の先生へ 本剤はビスホスホネート系薬剤です。</p>
---	--

表面

裏面

※服用時の「水」についての記載修正

※歯科治療を受ける際の注意追記

「アレロック顆粒 0.5%」と「ザジテン点眼液 0.05%」品薄のお知らせ

抗アレルギー剤「アレロック顆粒 0.5%」と「ザジテン点眼液 0.05%」において、需要が想定以上に増加したため、今後の需要に対して安定供給が困難となっています。必要時に供給が間に合わない場合は、代替薬をご検討下さい。

＜アレロック顆粒 0.5%の代替薬＞

アレジオンドライシロップ 1%、セルテクトドライシロップ 2%、リザベン細粒 10%

＜ザジテン点眼液 0.05%の代替薬＞

パタノール点眼液 0.1%、リザベン点眼液 0.5%、クモロール PF 点眼液 2%

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ

下記緊急購入薬の診療科限定オーダを開始します。

オーダ開始日	緊急購入薬	対象診療科
2012.12.17	サイモグロブリン点滴 25 μ g	泌尿器科
2013.1.18	パキシル錠 10mg	精神科
2013.1.22	パキシル錠 10mg	女性外来
2013.1.24	インライタ錠 1mg	泌尿器科
	サーティカン錠 0.25mg	泌尿器科
2013.2.18	サンドスタチン LAR30 μ g	第三内科
	サーティカン錠 0.75mg・0.25mg	小児科

「効能・効果」及び「用法・用量」改訂のお知らせ

★インデラル錠 10mg(一般名:プロプラノロール塩酸塩)＜高血圧・狭心症・不整脈・片頭痛治療剤＞

【効能・効果】片頭痛発作の発症抑制

【用法・用量】1日 20～30mg より投与開始、効果不十分な場合は 60mg まで漸増、1日 2～3 回に分割

★エクア錠 50mg(一般名:ビルダグリプチン)＜選択的 DPP-4 阻害薬＞

【用法・用量】2型糖尿病 ※すべての経口糖尿病薬およびインスリンとの併用療法可能

★グルトパ注 600 万(一般名:アルテプラゼ(遺伝子組換え))＜血栓溶解剤(注射用 rt-PA 製剤)＞

【効能・効果】虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善(発症後 4.5 時間以内)

★サワシリン cap250(一般名:アモキシシリン水和物)＜合成ペニシリン製剤＞

★フラジール内服錠 250mg(一般名:メトロニダゾール)＜抗原虫剤＞

【効能・効果】ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

★ミンクリア内用散布液 0.8%(一般名:トメントール)＜胃蠕動運動抑制剤＞

【効能・効果】上部消化管内視鏡治療時の胃蠕動運動の抑制 ※検査時に加え、治療時の使用承認

使用上の注意改訂のお知らせ

★アリムタ注射用 100mg・500mg(一般名:ペトレキセドナトリウム)＜代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤＞

【適用上の注意】調製時:溶解後は速やかに投与すること。保存する場合は冷蔵(2～8℃)にて保存

★ヨウ化カリウム丸 50mg「日医工」(一般名:ヨウ化カリウム)＜無機質製剤＞

【用法・用量に関する使用上の注意】食直後の経口投与により、胃内容物に吸着されることがあるので注意。

制酸剤、牛乳等の併用は胃障害を軽減させることができる

【重要な基本的注意】(1)長期連用する場合には定期的に血清カリウム濃度測定が望ましい

(2)¹³¹I 療法を行う場合には、その 1 週間前に投与中止

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 299

★PMDA 医療安全情報の活用について

医療従事者に対して安全に使用するために注意すべき点などを、イラストや写真などを用いて、わかりやすく解説し、広く周知することを目的に作成している PMDA 医療安全情報について紹介し、医薬品・医療機器を安全に使用するために活用をお願いする。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等に改訂（追加）したので内容を紹介する。

◎ザナミビル水和物(商品名:リレンザ)＜抗ウイルス剤＞

【重大な副作用】ショック：血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫等が起こることがある

※アレルギー性ショック関連症例：3例（うち死亡1例）（平成21年4月1日～平成24年11月5日）

◎ジョサマイシン(商品名:ジョサマイシン錠)＜抗菌剤＞（未採用）

ジョサマイシンプロピオン酸エステル(商品名:ジョサマイシンシロップ・ドライシロップ)＜抗菌剤＞（未採用）

【禁忌】本剤成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【重大な副作用】・ショック, アナフィラキシー：観察を十分に行い、蕁麻疹、呼吸困難、血圧低下等異常が認められた場合には投与中止、適切な処置

・皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)：

観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置

※ショック, アナフィラキシー関連症例：1例（うち死亡0例）（平成21年4月1日～平成24年10月25日）

◎スニチニブリンゴ酸塩(商品名:スーテント cap12.5mg)＜抗悪性腫瘍薬＞

【重大な副作用】皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群), 多形紅斑：

観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置

※皮膚粘膜眼症候群：1例（うち死亡0例）

多形紅斑：5例（うち死亡0例）

（平成21年4月1日～平成24年12月1日）

◎竜胆瀉肝湯(医療用)(商品名:ツムラ竜胆瀉肝湯エキス顆粒(医療用))＜漢方製剤＞（緊急購入薬）

【重大な副作用】間質性肺炎：咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常等あらわれた場合には、投与中止、速やかに胸部 X 線・CT 等の検査実施、副腎皮質ホルモン剤投与等適切な処置

※間質性肺炎関連症例：4例（うち死亡0例）（平成21年4月1日～平成24年11月15日）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）
又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能。

旧名称品の薬価基準経過措置期間終了のお知らせ

★注射用プロスタンディン 20・500(一般名:アルプロスタジリアルファデクス)＜プロスタグランジン E₁ 製剤＞

(旧名称) 注射用プロスタンディン 20 → (新名称) プロスタンディン注射用 20 μ g

注射用プロスタンディン 500

プロスタンディン点滴静注用 500 μ g

※旧名称品の薬価基準経過措置期間：平成25年3月31日まで

製造販売元変更のお知らせ

★バイエッタ皮下注 5 μ g・10 μ g ペン(一般名:エキセナチド)＜GLP-1 受容体アゴニスト製剤＞

(現在) 製造販売元：日本イーライリリー → (2013年4月1日以降) 製造販売元：アストラゼネカ

使用期限変更のお知らせ

★タルセバ錠 100mg・150mg(一般名:エルロチニブ塩酸塩)

＜抗悪性腫瘍剤/上皮増殖因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤＞（100mg 錠は緊急購入薬）

(従来品) 4年 → (変更品) 3年（錠剤変更に伴い）

★ペリアクテン散 1%(一般名:シプロヘプタジン塩酸塩水和物)＜抗アレルギー剤＞

(従来品) 5年 → (変更品) 3年（製造場所変更に伴い新たに安定性試験を行った結果より）

適正使用のお願い

★プラザキサ cap75mg・110mg(一般名:ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩)〈抗トロンピン薬〉

本剤の投与にあたり、腎機能の確認と出血に関する患者への指導について、安全性速報配布などによる注意喚起後も、禁忌に該当する「透析患者を含む高度の腎障害(クレアチニンクリアランス 30mL/min 未満)のある患者」へ投与された症例及び重篤な出血等の副作用が発現した症例が報告されている。また、本剤開始後、腎機能の低下に伴い出血事象が発現した例が認められている。引き続き以下の点に十分注意すること。

- 透析患者を含む高度の腎障害(クレアチニンクリアランス 30mL/min 未満)のある患者には、本剤を投与しないこと
- 本剤を投与する前に必ず腎機能を確認すること。また、本剤投与中は適宜、腎機能検査を行い、腎機能の悪化が認められた場合には、投与の中止や減量を考慮すること。

★ラミクタール錠 25mg・100mg・小児用 2mg・小児用 5mg(一般名:ラモトリギン)〈抗てんかん薬〉

ラミクタール錠は重篤な皮膚障害があらわれることがあり、定められた用法・用量を遵守せず投与した場合に発現率が高くなる可能性があるため、以下の事項を遵守すること。

- 用法・用量を遵守すること
 1. 最大1日投与量を超えないこと
 2. バルプロ酸ナトリウム併用時の投与開始2週間までは隔日投与にすること(成人のみ)
 3. 増量のタイミングを守ること(投与開始後1ヵ月間は2週間毎に増量すること)
- 患者へ重篤な皮膚障害について以下の内容の服薬指導を行うこと
 1. 重篤な皮膚障害などの副作用が出る場合があること
 2. 皮膚障害の初期症状*が出たらすぐに受診すること
 3. 用法用量を守ること

*: 目の充血、咽頭痛、口唇/口腔内のただれ、発熱(38℃以上)、全身倦怠感、発疹

☆Drug Safety Update No. 217 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★: 最重要 ※: 重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
エストラジオール (デビルゲル、エストラテーパー(緊急購入薬)) 結合型エストロゲン (プレマリン錠) エチルエストラジオール (プロセキソール錠)	※禁忌: 未治療の子宮内膜増殖症 ※重要な基本的注意(プロセキソール錠のみ): 女性に投与する場合には、投与前に病歴、家族素因等の問診、乳房検診並びに婦人科検診(子宮を有する患者においては子宮内膜細胞診及び超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む)を行い、投与開始後は定期的に乳房検診並びに婦人科検診を行うこと。

医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)で確認可能

削除薬のお知らせ

下記薬剤のオーダ中止。

オーダ中止日	薬剤名	備考
2013. 1. 30	プロプレス錠 12mg	アジルバ錠 20mg 採用のため

包装変更のお知らせ

★アキネトン錠 1mg(一般名:ピペリデン塩酸塩)＜抗パーキンソン剤＞

	従来品	→	変更品
PTP シートのデザイン		→	新バーコード表示

★イモバックスポリオ皮下注(一般名:不活化ポリオワクチン(ソークワクチン))＜ウイルスワクチン類＞

- ・ラベル、個包装箱の社名表示変更：
 - 「製造販売：サノフィパスツール株式会社」表示削除
 - 「販売：サノフィ株式会社」表示を「製造販売：サノフィ株式会社」へ変更
- ・個包装箱のデザイン一部変更：英語表示面の品名等記載向きを変更、製品識別表示の表示面変更
- ・ワクチンシールの表示追加：ワクチンの有効期限追加

★クラビット点眼液 1.5%(一般名:レボフロキサシン水和物)＜広範囲抗菌点眼剤＞

- ・点眼容器ラベルに「日本薬局方」の表示追加

★クロスエイト M(一般名:人血液凝固第Ⅷ因子)＜血漿分画製剤＞

- ・溶解移注針（注射用水を製剤に注入する針）の形状変更：差込口内部にフィルター取り付けあり
- ・フィルトラン（注射用フィルター）削除
- ・アルコール綿（スワブ）の包装表示内容変更：「使用上の注意」の内容変更
- ・シリンジの開封方法変更：カット開封用の「切り口」廃止、ピール開封に変更
- ・輸注セット箱のデザイン変更：「輸注セット内容」の表示変更

★タルセバ錠 100mg・150mg(一般名:エルロチニブ塩酸塩)

＜抗悪性腫瘍剤/上皮増殖因子受容体(EGFR)チロシンキナーゼ阻害剤＞（100mg 錠は緊急購入薬）

	従来品		→	変更品	
規格	100mg	150mg		100mg	150mg
剤型			→		
識別コード	TARCEVA100	TARCEVA150	→	T100	T150
印字方法	錠剤に印刷		→	錠剤に刻印	

★注射用水 PL「フソー」＜注射用蒸留水＞

- ・ゴム栓部材質をイソプレレン→エラストマーに変更
- ・ゴム栓部デザイン変更

★セフィローム静注用 1g(一般名:セフトリアキソンナトリウム)＜セフェム系抗生物質製剤＞(緊急購入薬)

- ・販売名変更：(旧販売名)セフィローム静注用 1g → (新販売名)セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」
- ・バイアルラベル及びキャップの表示変更：新販売名に表示変更

★パイエッタ皮下注 5μg ペン 300・10μg ペン 300(一般名:エキセナチド)＜GLP-1 受容体作動薬＞

- ・ペンの包装変更：社名表示変更、調剤包装単位変更等

★バロス発泡顆-S(一般名:炭酸水素ナトリウム・酒石酸)＜X線診断二重造影用発泡剤＞

- ・アンプルラベル及びケースのデザイン変更

★フルダラ錠 10mg・静注用 50mg(一般名:フルダラビンリン酸エステル)＜抗悪性腫瘍剤＞

- ・社名表示変更：「製造販売（輸入）：ジェンザイム・ジャパン株式会社」の表示削除
「販売：サノフィ株式会社」表示を「製造販売（輸入）：サノフィ株式会社」
（静注用は「製造販売：サノフィ株式会社」）へ変更
- ・（静注用のみ）個装箱の一括表示（成分、包装、製造番号、使用期限等）、バーコード表示の位置変更、製造番号、使用期限の印字方法変更、爪かけ開封用のミシン目追加

★ペンニードル 32G テーパー＜ペン型注入器用注射針＞

- ・形状変更：針の内径を広くし注入抵抗を約 30%軽減

★ラコール NF 配合経腸用液＜経腸栄養剤(経管・経口両用)＞

- ・容器に調剤包装単位コード（GS1 コード）の表示追加
- ・容器と梱包ケースのフィトナジオン（ビタミン K₁）原料品の注意表示を削除

<別紙>

★平成25年4月2日(火)よりオーダ開始

1. 新規常備依頼医薬品 (合計 8品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
エムラ 121	クリーム	5g/本	859.5	佐藤製薬	Lidocaine/Propitocaine 外用局所麻酔剤 ★皮膚レーザー勝者療法時の疼痛緩和に適応のある唯一の薬剤 ★リドカインとプロピトカインの混合物でクリーム製剤→密封塗布可能 【発売:2012.05.14】
カンサイタス点滴静注用 617	注	70mg 50mg	21,992 16,256	MSD	Caspofungin Acetate カンペン系抗真菌剤 ★カンペン系で唯一発熱性好中球減少症の適応を有する ★米国のガイドラインで経験的治療の第一選択薬として推奨 ★加水分解・N-アセチル化で代謝→慎重投与に「肝・腎機能障害のある患者」の記載なし(ファンガードは肝障害患者には慎重投与) 【発売:2012.04.19】
ケアラム 399	錠	25mg	150.5	エーザイ	Iguratimod 抗リウマチ剤 ★転写因子NFκBの活性化を阻害する作用を有する新規作用機序に基づく抗リウマチ薬 ★単独あるいはMTXと併用治療が可能 ★国内で唯一MTX効果不十分例に対する有効性・安全性が確認されている 【発売:2012.9.12】
ゴナックス皮下注用 249	注	120mg 80mg	29,126 23,693	アステラス	Degarelix Acetate 前立腺癌治療剤 ★国内初GnRH(性腺刺激放出ホルモン)アンタゴニスト(徐放性) ★下垂体前葉にあるGnRH受容体を直接的に阻害→下垂体からの黄体形成ホルモン(LH)、卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌を抑制→投与初期にテストステロンの一過性の上昇(テストステロンサージ)が起きない 【発売:2012.10.23.】
テラビック皮下注シリンジ 636	注	0.5mL /シリンジ	—	田辺三菱	四種混合ワクチン ★沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン→ワクチン接種の侵襲を軽減 【発売:2012.11.01.】
ピアスパン	液	1L	—	アステラス	臓器冷却保存液 ★生体腎移植で1本、献腎移植で2本使用 ★当院泌尿器科は献腎移植時の摘出チーム→常備が必要

2. 剤形・規格追加医薬品 (合計3品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
シナジス筋注液 625	注	100mg 50mg	152,072 76,819	アッヴィ	Palivizumab(genetical recombination) 抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体製剤 ★溶液製剤→調製の簡略化→業務軽減 ★従来(粉末剤)と同等の効果
メトレキセート 422	注	1000mg /40mL	44,425.0	ファイザー	Methotrexate 抗悪性腫瘍剤 ★大量に調製する場合、従来(200mg製剤)より調製時間が短縮可能 →抗がん剤の被曝を軽減可能 ★200mg製剤(薬価10,244/V)X5=51,220 1000mg製剤(薬価44,425/V)と6,795円経済的 ★病院機能評価対応のため 【発売:2013.2.14.】

3. 新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品 (合計4品目)

商品名	剤形	規格	削除理由
シナジス筋注用	注	100mg	販売中止のため、削除
メトレキセート	注	5mg	メトレキセート点滴静注液1000mg採用のため、削除
沈降精製百日咳ジフテリア破傷風混合ワクチン(三)	注	—	テラビック皮下注シリンジ採用され、四種混合へ移行できた場合、削除

※削除可能医薬品は、全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、削除します。あるいは、特定の診療科で問題のある場合、「診療科限定」に登録します。(注:「診療科限定」は原則、在庫しない医薬品です。)